

議員案第27号

西岡市長に対し、小金井市立保育園廃園問題について、保護者団体など関係者と対話を重ねることを求める決議

上記の決議を次のとおり提出する。

令和4年9月6日提出

小金井市議会議員

白 井 亨
古 畑 俊 男
坂 井 えつ子
安 田 けいこ
片 山 かおる
渡 辺 大 三
森 戸 よう子

西岡市長に対し、小金井市立保育園廃園問題について、保護者団体など
関係者と対話を重ねることを求める決議

西岡市長は昨年、従来は民営化する方針だった小金井市立保育園について、段階的に受入れ児童数を縮小し、最終的に廃園とする方針を打ち出した。第一段階で、くりのみ保育園（東町）及びさくら保育園（貫井北町）を廃園し、続いて、わかたけ保育園（前原町）を廃園にするとの内容である。

この市長方針に対して、保護者団体から強い懸念が表明され、市議会は昨秋「利用者等との十分な協議・理解を得ないまま公立保育園の廃園への準備行為の中止を求める陳情書」を全会一致で採択し、市長に送付した。

しかし、その後も保護者団体の理解を得ることはできず、保護者団体からは、現時点においても、「納得のできる説明」、「専門家・関係者を入れた協議・検討」を求める声が上がっている。

小金井市における子育て支援の基幹的施設である市立保育園5園のうち、3園を廃園にするという市長方針に関しては、市議会の中で賛否双方の意見があるが、8月に開催された全員協議会では、反対議員のみならず、賛成議員からも、保護者団体との対話を求める声が上がった。しかし、市長は2022年8月25日、保護者団体との対話の場の設定に背を向けたまま廃園条例案を市議会に送付した。

係る重要案件について、保護者団体との対話に応じない「問答無用」の姿勢は理解できない。市長は常々「対話の市政」、「対話とは相互理解」と標榜しているが、これでは看板に偽りありと指摘せざるをえない。

よって、小金井市議会は、西岡市長に対し、小金井市立保育園廃園問題について、保護者団体など関係者と真摯に向き合い、対話を重ねる場を設定することを強く求めるものである。

以上、決議する。

令和4年 月 日

小金井市議会